



地域運営をデジタル化し、地域の魅力を向上させよう

パソコンやスマートフォンを利用して地域運営をデジタル化し、地域運営組織（地域コミュニティセンター、NPO 法人、各種協会、基礎自治体など）や利用者（市民、観光客など）を含めた様々なステークホルダーの地域における体験を向上させながら、魅力ある地域を実現するための手法を学びます。モビリティ・マネジメント、コミュニティ・マネジメント、地域資源マネジメントなどのテーマを設定し、効果的なアプリ開発プロセスを体験していただきます。

01 香川大学の提供するローコード／ノーコード開発プラットフォームを用いた地域運営アプリのプロトタイプ開発およびプロトタイプによる課題解決アイデアの検証

02 高松市の提供する IoT 共通プラットフォームを用いた地域データのオープンデータ化と、データの2次利用による付加価値創出

03 アイデア創出手法に基づく課題解決アイデアの創出、ならびに、共通する地域課題に対するチーム形成およびフィールドワーク

学ぶ
地域運営アプリの
開発手法

実践・効果検証
チームの形成と
地域課題解決

アプリのプロトタイプを地域のステークホルダーで共有することでアプリの効果を検証し、地域運営にとって本当に必要なアプリは何かを探してもらいます。あなたの地域課題解決アイデアを形にし、地域の改善に貢献してみませんか？

スケジュール ※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

- 6月10日(土) 第1回 ハンズオン①**
デザイン思考に基づくアプリ開発を体験してもらうため、非IT人材でもアプリ開発を実行できるローコード／ノーコード開発プラットフォームをもちいたアプリ開発手法を学びます。
- 6月17日(土) 第2回 ハンズオン②**
各地域で収集されたデータをオープンデータ化して、データの2次利用によりさらなる価値創出につなげる手法を学びます。またIoT、AIといった先端IT技術で収集できるセンシングデータを統合することで、サービスの高度化を実現します。
- 7月1日(土) 第3回 アイデアソン・チームビルディング**
香川大学で開発されているアイデア創出手法に基づいて、地域課題解決のアイデアを考えてもらいます。さらに共通する課題に対してチームを形成してもらいます。終了後、地域でのアプリ実践を通じてデータの充実やアプリを改善させるフィールドワークをおこなっていただきます。
- 8月26日(土) 第4回 成果発表会**
それぞれの研究成果を研究室全体で共有していただきます。チームによるプレゼンテーションとブース展示を予定。

時 間 ①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③14:40～16:10
(90分×3コマ) ※第4回は②、③のみ ※途中休憩あり

Q 「ローコード・ノーコード開発プラットフォーム」とは？
コンピュータ・プログラミングの代わりに、グラフィカル・ユーザー・インターフェースと設定を通じてアプリケーション・ソフトウェアを作成できる技術。

講師／アシスタント

【講師】香川大学 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター 教職員・スタッフ



准教授 米谷雄介
専門：
ナレッジ
マネジメント
システム開発



DXラボスタッフ
八木悠介
(大学院
創発科学研究科)



DXラボスタッフ
六車俊紀
(大学院
創発科学研究科)

【アシスタント】創造工学部 情報システム・セキュリティコース 学部生

申込方法や詳細は裏面へ

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階
TEL:087-822-0111 FAX:087-822-0112 <https://www.e-topia-kagawa.jp>

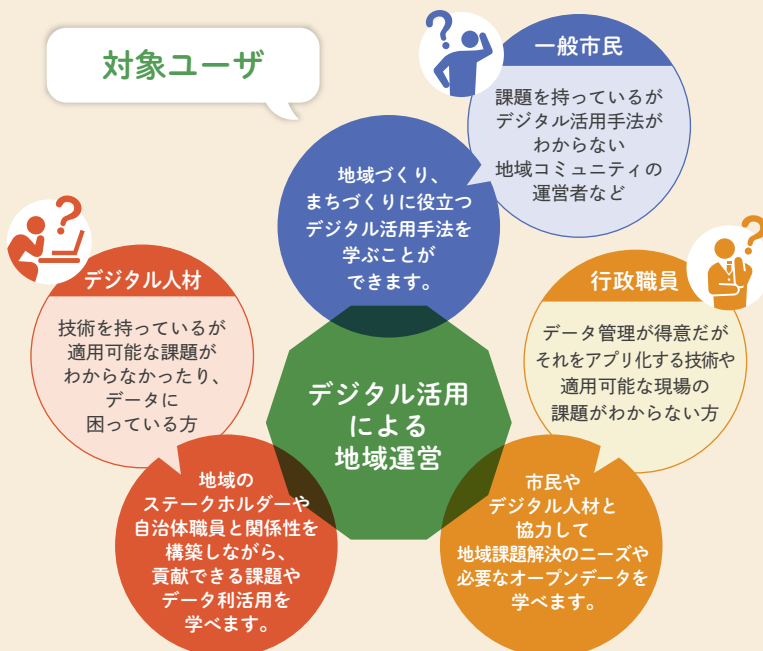
開館時間 火曜日～金曜日 10:00～21:30、土曜日・日曜日・祝日 10:00～18:00

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌日に最も近い祝日・休日でない日)、年末年始(12月29日～1月3日)

★SNSで情報発信中! Twitter=@etopiakagawa Facebook=https://www.facebook.com/etopiakagawa ※ご来館は、公共交通機関をご利用ください。

情報通信交流館 web検索

対象ユーザ



受講料

無料

対象・定員

対象 | 高校生以上
※18才以下は保護者の同意が必要です。
定員 | 30名 ※先着順受付

参加条件

- データやアプリを作って地域運営を効率化したい方、地域住民にとって魅力ある地域を作ることに興味、関心のある方で、全日程参加できる方
- 普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ開発のスキルは不要です）
- Wi-Fi にてインターネットに接続可能なノート PC を持参できる方（※ OS、Version は問いません）
- 必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されている IT（情報技術）に詳しい方のご参加を歓迎
- 成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします

申込方法

情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）のホームページよりお申込みください。HPはコチラ



申込締切 **5月31日(水)**

開講スケジュール／カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	6/10 (土)	パソコンやスマートフォンを使って地域運営をデジタル化しよう	地域運営（まちづくり）に資する地域運営アプリを実際に作ります。デザイン思考に基づくアプリ開発のプロセスを体験していただくため、香川大学が提供するローコード／ノーコード開発プラットフォームを用いてプロトタイプを開発し、プロトタイプに基づきアイデアを検証する方法を学びます。
2	6/17 (土)	各地域の情報をオープンにすることで、地域共通の課題を解決しよう	個々の地域運営アプリから収集されるデータをオープンにすることによって地域共通の課題の解決を目指します。地域運営アプリで収集したデータを、高松市が提供する IoT プラットフォームにオープンデータ化します。それらデータの2次利用により新たな価値を創出する方法（デジタルトランスフォーメーション；DX）を学びます。また、IoT や AI 等の先端 IT 技術で収集されるセンシングデータを統合することによって、サービスの高度化を目指します。
3	7/1 (土)	・ アイデアソン ・ チームビルディング	「エモグラフィ」「スピードストーミング」「ハイライト」「アイデアスケッチ」「プレスリリース作成」といった手法を用いて、地域課題について共感、問題定義、アイデア創出をおこなった上で、共通の地域課題に関心のある方たちでチームを作ってもらいます。
4	7/2 (日) 8/25 (金)	地域でのフィールドワーク	プロトタイプを検証し、さらにデータを充実させるフィールドワークをおこなってもらいます。チームで開発したアプリを地域で共有しフィードバックを得ながら、データを充実させていきましょう。フィールドワークにおいては、アプリ稼働に必要なサーバ機能、位置情報アプリ稼働に必要なモバイル通信端末を研究室にて貸与します。また、遠隔コミュニケーションツールを提供し、アプリ改善におけるトラブル解決や質問には、講師 / アシスタントが対応します。
5	8/26 (土)	研究成果発表会	・ プロトタイプの検証結果を展示します。 ・ 香川県におけるオープンデータ活用方策について意見交換します。

令和4年度 まちのデータ研究室 研究員による研究事例

※Microsoft Power Platform および IoT 共通プラットフォーム FIWARE を活用

◎観音寺市まち歩きガイドアプリ



◎高齢者の SOS の声を助けられる人が拾えるアプリ



主催 | 情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）、国立大学法人香川大学、スマートシティたかまつ推進協議会
 共催 | かがわ情報化推進協議会
 後援 | 高松市、四国情報通信懇談会
 協力 | 日本マイクロソフト株式会社、日本電気株式会社、e かみしばいコンテスト実行委員会
 協賛 | 情報処理学会四国支部、教育システム情報学会四国支部